

議会報告会会議録			
1 開会日	平成24年11月15日	午前 10時00分 開会 午前 11時30分 閉会	
2 場所	生涯学習館2階集会室		
3 出席議員	渡辺順子議長 (開会あいさつ・議会基本条例の説明) 奥津勝子副議長 (閉会あいさつ) 三澤龍夫議員 (司会進行) 竹内恵美子議員 (平成23年度決算の主な審査内容報告) 二宮加寿子議員 (主な議案審議報告) 土橋秀雄議員 (記録)		
4 傍聴議員	片野哲生議員 高橋英俊議員 坂田よう子議員	高橋富美子議員 吉川重雄議員 清水弘子議員	鈴木京子議員 関威國議員
5 参加者	18人		
6 報告事項	(1) 議会基本条例について (2) 平成23年度決算の主な審査内容について (3) 主な議案について ・平成24年度大磯町一般会計補正予算(第4号) (4) 前回報告の結果について ・前回の議会報告会における町民意見等町申送り結果 (町からの回答) (5) その他		
7 その他			

議員自己紹介の後、議長からあいさつを行い、各報告担当議員から『議会だより大磯』第166号を資料として、決算審査や主な議案に対する審議経過を報告し、質疑応答を行った。

(1) 議長あいさつ・議会基本条例の説明

議会基本条例の制定経過と議会基本条例に規定する議会報告会のあり方について説明。

議会報告会は、議案審査における議論の経過・結果など議会としての考え方を報告するものであり、町に替わって答弁するものではない。また、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。いただいた意見・要望は、今後、政策提言に結びつけるなど、議会運営の改善を進めていく。

今年度は条例施行から3年が経過し、議会報告会を開催する他、各種団体との意見交換の実施、条例の運用状況を客観的に検証するために講師を招いて研修を行った。今後も信頼される議会を目指し、この制度を十分活用してまいりたい。

(2) 平成23年度決算の主な審査内容報告・・・竹内恵美子議員報告

『議会だより大磯』第166号の4～7ページに基づき、平成23年度決算に対する決算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。

◎主な質疑

問：議会だよりの4ページに「平成23年度決算一般会計は不認定」とある。予算の総務費14億7,984万円の中には議員の歳費が含まれ、認定している。自分達の歳費は次年度予算に再検討するのか、身を削る気持ちはあるのか。

答：2年ほど前、議会は議員検討委員会で歳費削減を行い、何百万円か歳費の削減をしており、町民の皆様にも議会での検討経過を理解してほしい。いただいた意見については、議会の中でも話し合っただけでまいりたい。

(3) 主な議案について・・・二宮加寿子議員報告

9月定例会で審議された議案のうち、「平成24年度大磯町一般会計補正予算(第4号)」について、『議会だより大磯』第166号の3ページに基づき、審議内容等を報告。

◎主な質疑

問：役場は建てて何年経っているか。何かあった時のコントロールセンターなので、現状のまま補強したらいいかということでは済まないと思うが。

答：昭和46年に建てられたもので、昭和56年の新耐震基準には適応していない。平成13年度に耐震補強し、ある程度の躯体の強さは維持されている。町の防災対策をすべて見直す中で、予算との兼ね合いもあるが、強度を高める施策を町に申し入れていく。

問：給食食材について、何故、放射能測定が東海大学だけと決められたのか。一つの機械で計測すると偏りが生まれてくると思うが。

答：福祉文教常任委員会では、東海大学だけでなく、独自で給食食材の測定をすべきであると考えている。また、東海大学の機械は非常に精密で、低いレベルまで測れるということで、数年間にわたって子ども達が食べた食材の中ほどの程度のセシウムが含まれているかを知る貴重なデータになるため、是非利用は続けて欲しいと提言をした。

問：給食に使用されている食材は、大磯で生産された食材が多いのか。

答：全部が大磯で採れたものではない。

問：給食食材の放射性物質の測定には、正確な測定器を早く購入し、子どもの安全を守っていただきたいと思うが、その後の動きは。

答：東海大学の測定器は精密に測ることができるが、その日食べる食材を即日検査できる測定器を早く購入して欲しいと、議会からも町と教育委員会に要望を出している。今後も、できるだけ早く購入してもらえるよう申し入れていく。

問：町の公共施設をLEDに替えたらどうか。

答：LEDにすれば確実に安くなるはずで、大きな予算を必要としないリースという方法もあるので、削減については研究をし、今後も町に訴えていく。

問：TPP参加で「食の安全」や医療のしくみが変わってきてしまう恐れがあり、国民生活に大打撃になると思う。総括的に物を考えないと激変する社会に対抗していけないが。

答：脱原発、TPP、これから勉強していく。提案は町に届けていく。

問：広域避難所にもなっている大磯小学校の体育館では、耐震工事と共に屋根にソーラーパネルをつけて「自然エネルギー等を使う町」という宣伝をしてほしいと考えるが。

答：大磯の小学校は間に合わなかったが、そういう施策を進めていくよう、議会から町に声を上げていきたい。

(4) 前回報告の結果について

前回(平成24年5月)の議会報告会において出された意見のうち、町へ申し送った意見への回答については、出席者に配布資料にて情報提供した。

(5) その他

(6) 閉 会